

2024
1

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定推進室

資格検定ニュース

2024 年 1 月 | 第 18 号

「自然」をどう考えるか



人間の手が加わらない、原始の地球の姿が自然なのか。



アマゾンの原生林、アルプス山脈と放牧、フランスの荒れ地を開墾したブドウ畑、裏山に人の手を加えた里山、農薬と大型機械による耕作で成り立つ大規模近代農業。

いずれも、見聞きしたことのある地球上の風景です

「自然保護」あるいは、「地球環境保全」とは、太古の昔から、一切の人為的行為が及んでいない状態を維持させることでしょうか。人間活動の及ばない、動植物の生態系が「自然」であり、そこに人の手を加えることは「人工的」な蛮行なののでしょうか

痩せた土地を開墾し、ぶどうを植え、ブドウ畑にして収穫し、ワインを醸造したり、裏山に手を加え、水路を引き、田を作り、水を引き、稲作をし、カエルや朱鷺の舞う里山、段々畑は自然破壊でしょうか。

焼畑農業や草焼き、漆の採取、キノコ採りは自然破壊行為なののでしょうか。大規模なコーヒー豆栽培プランテーションや、バナナ、パイナップル栽培はどうでしょう。土を深く掘り起こし、大型農機や農薬を使用する農法はどうでしょうか。

ベトナムやインドなど東南アジアや南アジアなどでのエビの養殖は、現地の人々に収入と生活の安定をもたらし、日本人の食卓を潤しています。自然との共存ですか。